

公立大学法人富山県立大学学長予定者の選考結果について

公立大学法人富山県立大学学長選考会議は、本年10月1日に「富山県立大学学長候補者の選考について」公示し、候補者の推薦受付期間を10月28日から同月31日までとした。期間中に候補者として推薦があったのは小笠原 司氏の1名であり、本日、学長選考会議を開催し、学長予定者を選考した。

学長選考会議においては、公立大学法人富山県立大学学長選考規程第4条に定める選考の基準「人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者」に照らし、推薦時に提出された学長候補者推薦書、学長候補者履歴書、所信表明書等を基に、候補者から所信表明を聴き、質疑を行った上で、審議を行った。

富山県立大学は、現在、情報工学部棟の整備、情報工学系大学院、看護学研究科博士後期課程の開設に向けた取組を進める一方、急速な少子化が進行する中、学長には将来を見据え、公立大学としての本学のビジョンを示し、学内の力を結集して諸課題に取り組む強いリーダーシップが求められている。

学長選考会議において慎重に審議した結果、小笠原 司氏のこれまでの実績と今後の取組方針を評価し、大学をはじめとする高等教育機関を取り巻く環境が激変する中、高大連携も見据えたチャレンジ精神、強い意思と実行力を有していると判断した。

加えて、富山県立大学では、3学部9学科制により、ものづくり技術、エレクトロニクス、環境工学、バイオ、医薬品、データサイエンス、知能ロボット、看護学等といった多彩な分野を学べる環境にある。そこでも小笠原氏の知見や経験、指導力が発揮され、各学術分野が連携・融合することにより、教育研究が一層充実・発展し、さらには地域課題解決につなげるなど、本学の魅力と強みとなることが期待される。なお、選考に支障となる処分歴も確認されなかった。

こうしたことから、小笠原 司氏を次期学長予定者に決定した。

新たな学長のもと、富山県立大学において先端的な教育研究の一層の充実が図られるとともに、県内の経済団体や医療機関等からの期待に応え、地域社会に貢献する大学づくりを更に推進されることを期待し、ここに学長予定者の決定を報告する。

令和6年11月18日

公立大学法人富山県立大学学長選考会議